



【要事前参加申込】

参加お申し込みは↓まで
<https://goo.gl/CwNGZL>



東京大学政策ビジョン研究センター
Policy Alternatives Research Institute

※定員に達し次第、受付を終了します。

東京大学政策ビジョン研究センターシンポジウム 金融科学の賢い利用の促進 -老後資金の確保に向けて

2017年12月11日(月) 14:15 - 17:30
(13時45分開場)

東京国際フォーラムD5ホール

高齢化が進む日本において、定年退職後の生活資金の安定的確保は多くの国民が直面している課題である。まずは、実務とアカデミックな知見の双方において、長期にわたる生活資金の管理をめぐる諸問題の現状を把握する。その上で、それぞれの専門家からの具体的な対応策などの議論を通じて、今後のビジョンを明らかにする。

【登壇予定者】※都合により変更になる場合があります



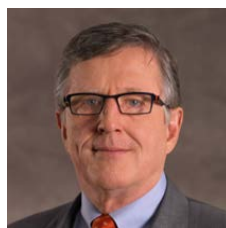
(ビデオ出演)
ロバート C. マートン
Robert C. Merton
MIT経営大学院教授
ノーベル経済学賞受賞者



大久保良夫
Okubo Yoshio
一般社団法人 投資信託協会
副会長専務理事



植田 和男
Ueda Kazuo
東京大学金融教育研究センター
(CARF) センター長



デービッド G. ブース
David G. Booth
ディメンショナルファンドアドバイザー
ズ創業者・エグゼクティブチェアマン
シカゴ大学理事



本多 俊毅
Honda Toshiki
一橋大学大学院
国際企業戦略研究科教授
日本ファイナンス学会会長



油布 志行
Yufu Motoyuki
総務企画局 参事官
(総合政策・資産運用担当)

言語：日本語

(マートン教授のビデオは日本語訳を配布いたします)

コーディネーター：

竹内 洋 (東京大学政策ビジョン研究センター客員教授)

植田 健一 (東京大学大学院経済学研究科准教授)

東京大学政策ビジョン研究センター

<http://pari.u-tokyo.ac.jp/>

問合せ先：pari@pari.u-tokyo.ac.jp

主催 東京大学政策ビジョン研究センター
グローバル経済リスクの分析と政策研究ユニット

後援 一般社団法人金融財政事情研究会